



令和5年 12月25日(月)  
練馬区立開進第四小学校  
校長 関川 健

# 開四小だより

## 冬休み号

### 笑顔になれる時間

校長 関川 健

明日から冬休みです。今年度は後ろに成人の日がくっつくので、普段より1日多い14日間です。それでも短いですね。今の私の感覚では、年末は大掃除や年賀状書き、お正月の準備などを行っているうちにあっと言う間に歳が暮れてしまいますし、お正月は初詣に出かけたり箱根駅伝を見たりしているうちに、こちらもあっと言う間に過ぎ去ってしまう気がします。しかし子供たちにとっては長い2学期を終えての待望のお休み期間です。自由な時間には色々楽しいことをして遊ぼうと考えていることでしょう。また、家族でどこかに出かけるのを楽しみにしているのでしょうか。

私事で恐縮ですが、自分の小学生時代の記憶を掘り起こしてみると、冬休みは家族4人でよく遊んでいました。遊びの中身は年代によって移り変わりますが、自分が4～5年生の頃は、人生ゲームをよくやりました。最初のバージョンです。ゲームの中で賭けをする機会があるのですが、当たるとお金が10倍になるワクワク感が楽しかったです。父親の勧めで百人一首かるたを始めたのもこの頃でした。それぞれの和歌の意味はよく分かりませんでした。何となく気に入った歌からどんどん覚えていき、上の句の出だしを聞いたらすぐ取る気持ちよさを楽しみました。トランプや花札もよくやりました。トランプでよくやったのは、定番のババ抜きジジ抜きのほか51やダウトでした。もはや知らない方もいるかもしれません。冬休みだけではありませんが、麻雀（マージャン）もよくやりました。これも私が4年生の頃（妹は1年生）父親が家族に教えて始めました。点数は数えられなかったですが、結構はまって好きになってしまいました。

子供時代は家族で色々な遊びをしていたことに気がきました。完全にアナログの時代なので、ボードゲームやカードゲームなど、実際にモノを使って手で操作する遊びです。その時の様子を思い出してみると、勝っても負けてもとにかくよく笑っていたと思います。このような遊びには人を笑顔にする魔法が仕込まれているのでしょうか。最近では、11月に行った5年生の岩井移動教室では、初日の夕方、部屋ごとに自由に遊ぶ時間がありました。ある部屋を訪問したらUNOに誘われたので入れてもらい1ゲームだけやりました。やっている最中は子供たちと一緒に本当によく笑いました。

さて、冬休みの話に戻ります。きっとそれぞれの御家庭で楽しい計画があることでしょう。家族みんなが笑顔でいる時間が、きっと子供たち一人一人の心を温かくして、明日へのエネルギーに変換され、頑張る力ややり抜く力になっていくことでしょう。楽しい冬休みをお過ごしください。そして、よいお年をお迎えください。

皆様に御協力いただいた音楽会アンケートのまとめを1月に公表する予定です。そこでは文面の抜粋をたくさん御紹介したいと考えております。つきましては、いただいた文や文章を掲載することをご了承ください。学年や個人情報は一切掲載いたしません。よろしくお願いいたします。